新年あけましておめでとうございます!!
12/30～1/3まで5日間お休みをいただきました。最初は「5日間もあるのかぁ」と思っていましたが、あっと言う間に終わってしまいました。(><)休み中は朝起きるのが遅くなってしまい、かえって体がだるくなってしまいました。やっぱり規則正しい生活は大事ですね。皆さんのお正月はいかがでしたか?平成も30年になり、平成31年4月には天皇陛下が退任されるので、残り1年半くらいですね。スポーツデイは今年の夏で開設して丸5年。6年目に入ります。

少しずつ新しいことにチャレンジしながら、皆さまに楽しんでいただけるデイを目指して頑張っていきます。
今年もどうぞ宜しくお願い致します。

～生きてるだけで丸儲け～
明石家さんまさんのおはなし

毎月、スポデイの利用者さんへのインタビュー記事を中心に書いていますが、新春ということで皆さんもよくご存じのさんまさんにスポットをあててみました。座右の銘は上にある「生きてるだけで丸儲け」です。歌にもなったこのフレーズ。長女のIMALU(いまる)さんはここからのネーミングですね。実はこの言葉に行きつくまでに、さんまさんはずっと辛い時期をいくつも乗りこえてこられてきたのでした。ご存じでしたか？

・3歳のときお母さんが病死

子どもにとって甘えたい盛りの母の死。病気でなくなったということは、ずっと以前から病と闘っていたのでしょう。お母さんに甘えたり、一緒に遊んだりする機会は、きっとすごく少なかったと思うのです。これがさんまさんが直面した最初の「生死にかかわること」です。

・新しいお母さんからの無視

さんまさんが小学生の時お父さんが再婚され、新しいお母さんができました。でもさんまさんはあたかもそこに存在しないかのように無視をされつづけ、お母さんと一緒に来た新しい弟さんだけを「うちの子や」と話しているのをこっそり聞いて、実のお兄さんと2人で涙したそうです。

・弟さんの突然の死

新しい弟さんとはとても仲良くなり、かわいがっていたというさんまさん。ところが弟さんは、火事が原因で19歳でこの世を去ってしまいます。その頃すでにお笑い芸人としてTVで活躍されていたさんまさんですが、このことで、一時は笑いが取れず、芸人をやめようとまで考えられたそうです。

・日本航空機墜落事故

実はさんまさんが乗る予定だったこの飛行機。ですがたまたまTVの収録が早く終わったので、1つ前の便の飛行機に乗ったのだそうです。520名もの犠牲者を出した大きなこの事故。さんまさんは偶然、"死"から免れたのですね。

さんまさんは、"俺は幸せな人を感動させたいんやなくて、泣いてる人を笑わせて幸せにしたいんや。これが俺の笑いの哲学や"とおっしゃっています。大竹しのぶさんと結婚されたときにすでにいらした男の子、二千翔(にちか)さんへの愛情はとても深く、お二人が離婚された時には、二千翔さんは「さんまさんの方へ行く」と言い張ったそうです。

"笑顔という貯金をしておくと、優しさという利子がつく。人間生まれてきた時は裸。死ぬ時にパンツ1つはいてたら勝ちやないか"

あなたの想いを共有し
想いを一緒に
形にしていきます

スポーツデイたんばら
Tel 0898-68-8882
営業時間 月～金：830～17：30